

よさこい にゅーす



113号
発行2011. 7. 30

発行 白木 幸子
編集 松岡 富美子

発行所：一般社団法人
高知県作業療法士会 広報部
事務局：高知市北本町 1-2-6
近森リハビリテーション病院内
<http://kochi-ot.main.jp/>

【目次】

一般社団法人として2年目をむかえて……………	1	施設紹介……………	4
長尾氏医療功労賞中央表彰受賞インタビュー……………	2	お知らせ……………	5
学会報告……………	3		

一般社団法人として2年目をむかえて

一般社団法人高知県作業療法士会会長 白木幸子

高知の夏がやってきました。今年は冷夏のハズだったのに、暑さは増してきています。

高知市内中心部の商店街では、よさこい踊りの練習も佳境に入り、夕方の時間帯には賑やかになってきました。高知にいるのだったらせめて1度は踊り子としてよさこい踊りを体験することをおすすめします。私自身は最近踊ってないですが…。



さて、昨年5月より一般社団法人として活動を開始して、2年目を迎えました。法人として活動して行くにあたり権利と義務が明確になったと感じています。主な義務は、税法上「人格のない社団等」並みに課税されること。つまり納税の義務です。今までは発生しなかった県民税や市民税を支払う必要がありますし、講師謝金に対する源泉徴収も納税しなければなりません。このようにまだまだ慣れず、戸惑うことばかりですが、法に沿った法人運営をしなければなりませんので仕方ありません。

また、その方法は様々ですが情報公開の義務もあり、具体的には法人の運営や活動について、つまり定款や事業報告書などの書類を何らかの方法で閲覧できるようにする必要があります。ご存知の方も多いと思いますが、日本作業療法士協会はホームページ上で定款や事業報告を掲載しています。

これによる大きなメリットのひとつは、組織の基盤がしっかりしていることがわかりますので、社会的信用が得られるということです。

このメリットを生かし、官公庁等の事業などにも積極的に協力し、県民の地域生活移行・定着支援と生涯学習への貢献のために、活動していけるのではないかと考えています。

その為には皆さんと知恵と力を合わせて取り組むことが必要と感じています。ぜひご協力をお願いいたします。

最後に、今年3月の東北地方太平洋沖地震により東北を中心に、甚大な被害をもたらしました。被災地の皆様、関係者の皆様に、あらためて心よりお見舞いを申し上げます。

高知県作業療法士会としても会員一人あたり約200円を、日本作業療法士協会を通じて援助金として送りました。

【事務局が移転しました】

一般社団法人高知県作業療法士会 事務局
〒780-0056
高知県高知市北本町 1-2-6
近森リハビリテーション病院内
TEL & FAX: 088-875-0720 E-mail: kochi-ot@nk.main.jp



第39回医療功労賞中央表彰受賞インタビュー

「利用者さんとともに」

長尾 恭代 氏

身体障害者通所授産施設ウィール社 施設長



長尾氏プロフィール：1969年作業療法士免許取得。臨床経験は41年。労働福祉事業団香川労災病院勤務、その後国立身体障害者リハビリテーションセンター、高知県身体障害者リハビリテーションセンターにて、障害者の生活や社会参加、就労の支援に従事。県作業療法士会の立ち上げに尽力し、作業療法士養成校での学生指導も担うなど人材育成にも貢献した。現在は、身体障害者通所授産施設ウィール社に勤務し、同施設長を務めている。

医療功労賞とは・・・

医療功労賞は、著明な実績を残した医療関係者に光を当てることを目的に昭和47年に創設され、これまでに全国表彰者624名を顕彰しています。第39回は18名の受賞です。長尾氏は、40年以上にわ



たり、障害者の生活や社会参加、就労の支援に努めたこと、県作業療法士会の立ち上げや人材育成にも貢献したことが、評価されました。

ーはじめに、医療功労賞受賞にあたり感想を聞かせてください。

第39回受賞では、OTは一名だけでした。個人が認められたというより、OTとして長年一緒に活動してきた皆さんとの力が認められたことがうれしいです。今後も元気と体力が続く限り、地域の中で生活される障がいを持たれる方々の生活や思いに寄り添った支援をしていきたいと思っています。この受賞が、OT協会の作業療法5.5計画(2008-2012年の5年間にOTの5割を地域に配置し、地域生活移行支援を推進する)への一助となればうれしいです。



ー対象者に携わる上で長尾先生の大切にしてきたことは何ですか？

香川労災病院で働き出した頃は、治療を終了した対象者のその先の生活を考えた時に、雇用も少なく、何とか地域生活や就労へ繋げる支援が出来ないものかと日々頭を悩ませていました。仕事に就くことがベストではないですが、仕事をしながらの社会参加で少額でも自分の手でお金を稼ぐことは喜びになり、より良い生活に繋がっていくと思いました。だからこそ、仕事をしながらの社会参加を支援し、仕事をしたいという思いに寄り添っていきたくて、地域の産業やレタリングなど生産作業を訓練に取り入れたり、退院後の地域生活への準備、就労の支援を常に頭において仕事をしてきました。

ー現在のお勤め先について教えてください。

身体障害者通所授産施設ウィール社は、現在22名の方が南国市・高知市・香美市・香南市、隣接の福祉ホームから送迎バスや、自家用車、徒歩で通所されています。作業種目は軽作業(ゼリーへの帯かけ、お茶、精米、ポケットティッシュ、衛生用品等の袋詰め)、編集(名刺、封筒、年賀状、ポスター、施設のニュース、帳票等)とその印刷の仕事が主となっており、職員は生活支援員・職業指導員を含め常勤6名で頑張っています。現在は、施設長という立場でもありますが、OTならではの身体機能・心理面への気付きを支援に活かしていけるよう関わらせて頂いています。



ー先生の元気の源は何ですか？

OTの仕事が好きだから。今は施設長としての立場で直接的にはOTはしていないのですが、今までOTをやらせて頂いた経験を生かして関わっていきたくてですね。対象者の社会参加や就労を大切にしてきたように、自分も職場に必要とされるなら、健康である限りこの仕事を続けていきたいと思っています。それが元気の源です。

ー後輩に対してのメッセージをお願いします。

皆さんが職業としてOTを選んだことは良い選択をされたと思います。対象者の生活の支援をさせて頂きながらお給料も貰えることは、対象者自身も幸せと感じてくれて、また自分自身も幸せと感ぜられる事では

ないでしょうか。対象者の方たちの希望を叶えるのは難しい事もありますが、その思いを受け止め、寄り添っていく姿勢で、障がいのある方が地域へ入っていくことを後押し出来るセラピストになってほしいと思います。目の前の対象者をみるだけでなくその先をみながら、考えながらその思いに寄り添ってほしいです。



施設見学・取材を通して

ウィール社は南国市左右山にあり、周りは小川もありのどかな地域でした。通所者の方たちの笑顔も印象的で、楽しんで授産作業をしているのだなと実感しました。何より長尾先生自身の笑顔も素敵で、元気を頂きました。「ご連絡頂ければ、見学等大歓迎です」とのことです。

※**身体障害者通所授産施設**とは、疾病などによる身体障害や先天性の疾患や事故による障害があるため、一般に雇用されることが困難な人を対象とした施設です。基本的には通所型施設であるため、利用者は自宅から通って作業をします。賃金を得る就労の場であるとともに、一般就労を目的とした自立支援・職業訓練の機関としての役割も担っています。ウィール社には、身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳を持たれている方々が通所されています。



第45回日本作業療法学会に参加して

もみのき病院 黒川梓乃

6月24日～26日まで埼玉県大宮市で開催されました第45回日本作業療法学会に参加してきました。学会開催中は、「意味ある作業療法」をテーマに急性期から維持期、身障・精神・発達・老年期等様々な分野における作業療法の意義や役割、今後の展望についてのワークショップに参加することができました。多様な分野で活躍されている先生方の話を直に聞く機会を得られた事は、自身の振り返りを行うと共に、新たな目標を得ることができたと感じています。



また今回、私は未熟ながら研究発表の機会を頂き、その過程において、患者様の作業療法評価から得られた情報、訴えや一つ一つの事象を繋げ、アプローチの方針・内容を検討していく中で、私自身多くの先生方の研究を参考にし、たくさんの先輩、先生からアドバイスを頂きました。こうした症例検討を通して、専門職としての評価の目を養い、アプローチに繋がられたのではないかと思います。

最近、私自身を含め、作業療法士としての経験年数が5、6年を満たない若い世代が多く、専門職としての学術的知見や個々の患者様への包括的な評価・援助といった質の高いアプローチを行っていく上で、まだまだ知識や経験が足りていないと感じています。今回、症例検討という機会を得て、多くの方々からアドバイスを頂戴し、研究発表を聴講できたことは、私自身多くを学び、そのことを実感できた貴重な体験であったと感じています。



四国学会に参加して

近森リハビリテーション病院 横内達也

今回、四国学会への発表は1年目の時から第1の目標として掲げていた目標でした。しかし、要領の悪い自分はずるずるとなまけてしまい、結局5年目になってようやく発表する事となりました。まず取りかかるにおいて文章を作成したのですが、後々文献を読むと自分が行っていたアプローチが的外れだったり、また意外と当たってたりしました。自分のアプローチについてまとめることが出来てすごく良い経験になり「次にこんな症例が来たら・・・」「次は失敗しない。」と色々頭のなかでのイメージを膨らませることが出来ました。

また皆さんの前で発表するとすごく緊張もするかも？と思っていたのですが、壇上にあがってもさほど緊張することもなく、むしろ座長さんなどと質問やそれに対する対応などが非常に楽しかったです。

発表はまだ一度きりですが、とても楽しい思い出ばかりでありこれからもコツコツ発表して自分の後学に生かし、患者さんへ還元していきたいと思えます。



施設紹介

JA 高知厚生連 JA 高知病院
作業療法士 笹岡 翔太

当院は約 80 年前に「香長病院」として開設され、それ以来の長い歴史を持ちます。2002 年（平成 14 年）に南国市明見字中野（現在地）へ移転新築し、現在の「JA 高知病院」として誕生しました。

診療科目は内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、放射線科、形成外科・皮膚科、麻酔科、リハビリテーション科、人間ドッグがあり、高知県東部における地域医療の拠点としての役割を担っています。

病床数は 178 床（一般病床 161 床、亜急性期病床 17 床）あり、主な対象疾患の方は急性期の脳卒中や整形疾患（腱板損傷、骨折、人工骨頭置換術後等）、廃用症候群等の患者様が対象となります。

また、併設施設として、「介護老人保健施設 JAいなほ（居宅介護支援事業所 みのりを併設）」があり入所サービスをはじめ、通所リハビリテーションを実施しており、それぞれの各施設が連携しながら急性期から在宅に向けたリハビリテーションを提供しています。

当院リハビリテーション科スタッフは、理学療法士 11 名、作業療法士 4 名、言語聴覚士 1 名が在籍、週 5 日体制でリハビリサービスを提供しています。「JA いなほ」では、作業療法士 1 名、理学療法士 3 名が在籍しています。作業療法士の今年度新人は 1 名です。当院のリハビリテーション科では月に 1 回飲み会を開催したり、釣りに行ったりとスタッフ間での交流も盛んであり、和気あいあいとした雰囲気が自慢の職場です。今後、勉強会や交流会に参加させていただくことあると思いますが、スタッフともどもよろしくお願いいたします。



〒783-8509
高知県南国市明見字中野 526-1
TEL: 088-863-2181 (代)

理事会報告

事務局より

- ①公印の管理については持ち出禁止とし、必要であれば事務局に文書・発送先リストをつけての依頼も可能とする
- ②士会 FAX 送信については、理事会および各部局からの伝達、SIG 認定先の研修会案内、その他理事会で承認をされた内容についてのみ使用
- ③会計説明会を 6 月 22 日に実施した

学術部より

第 10 回高知県学会は平成 24 年 2 月 4 日(土)～5 日(日)に土佐リハにて開催予定
基調講演の講師は、東京大学 池谷裕二氏に依頼

事業部より

- ①平成 23 年度の公開講座は、高知県学会時に同時開催予定。震災関連のテーマで検討中
- ②作業療法広報イベントは、平成 23 年 9 月 24 日(土)にイオンモール高知で開催予定

福利部より

研修会の開催について、2 月下旬を予定。内容は検討中

渉外部より

賛助会員およびよさこいニュース広告掲載のお礼状を発送した（賛助会員申込みは 22 団体、個人 1 名、ニュース広告申込みは 7 施設）

広報部より

広報誌については現在業者に校正依頼中。今後渉外部と配布時の広報戦略を検討していく

その他

事務局が移転しました 〒780-0056 高知県高知市北本町 1-2-6 近森リハビリテーション病院内
TEL&FAX: 088-875-0720 E-Mail: kochi-ot@nk.main.jp.

総会報告

平成23年度 一般社団法人高知県作業療法士会 第2回総会 報告

平成23年5月22日(日)に高知リハビリテーション学院にて開催されました。

出席者：81名(委任状 220名) 議長：森沢(近森リハ病院)
書記：光森(もみのき)、岡林(いずみの)

第1号議案：平成22年度事業報告 承認

第2号議案：平成22年度決算および監事意見書 承認

第3号議案：平成23年度事業計画案および当初予算案 承認

第4号議案：託児室設置に関して 承認

第5号議案：活動助成金事業に関して
今年度は事業見直しを図り、一旦中止となる 承認

第6号議案：義援金に関して 承認

第7号議案：長尾基金創設に関して 承認

監事 長尾氏より第39回医療功労賞中央表彰の賞金を「後輩育成のために使って欲しい」との意向あり、頂いた寄付金を「長尾基金」として設立

第8号議案：学習会等の参加費徴収について 承認

第9号議案：その他

質問 士会活動でのSIGに対する支援を考えてもらいたい
⇒今後理事会でも検討していく課題と考えている

オヤシントロウ

広瀬 キラ



【研修会情報】

◆ 第48回作業療法全国研究会(山梨会場)

日時	2011.9.18(日)・19(月/祝)
会場	ベルクラシック甲府(山梨県)
参加費	正会員：10,000円(当日受付：12,000円) 非会員：20,000円 他職種：5,000円、学生：1,000円 一般：無料(公開講座のみ)

◆ プレミアムOTセミナー Part2

テーマ	「前頭前野機能の理解と認知リハビリテーション」
日時	2011.8.7(日) 10:30~16:40
会場	御堂会館(大阪)
参加費	5,000円
定員	200名
申込み方法	http://www.geocities.jp/otsakai/index.html をご参照下さい。